



夢・いっぱい

第13号

令和5年3月24日

2022年度の経営方針

今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

校長 栗林 孝幸

ありがとうございます

令和4年度が終わりました。保護者や地域の皆様のおかげをもちまして、この日を迎えることができました。ありがとうございます。先日、6年生87名が卒業しました。いつもと違った服装、雰囲気、緊張気味ではありましたが、それがほほえましくもありました。立派な6年生の姿を見て、在校生代表として参加した5年生は、顔が引き締まっており、愛宕小の次期リーダーとしての自覚が芽生えたのではないかと思います。「場が人を育てる」と言いますが、いろいろな経験を積むことが子どもの成長に欠かせないと改めて感じています。本当にありがとうございます。



今年度新たに始めたことに「九九道場」があります。3年生から始めて4年生、2年生、5年生、そして6年生と九九を習っているすべての学年が経験しました。最後の6年生はプライドをかけて挑戦していました。とはいうものの6年生にもなりますと日頃九九を唱えることはなく、「これって、早口言葉じゃ」と言う子もいました。しかし、皆一生懸命に挑戦し、合格できたときにはすてきな子どもらしい笑顔を見せてくれ、こちらも思わず笑顔になりました。地域の方にも励ましていただきました。皆が笑顔で集えるすてきな時間であったと思います。「縁と絆～命は縁と絆によって支えられている」と教えていただいたことがあります。人と人とのつながりをこれからも大切にして、温かい雰囲気の学校にしていきたいと思っています。本年度も大変お世話になりました。ありがとうございます。

